

#### (5)長門川・北印旛沼・印旛水路・西印旛沼

改修断面は、法勾配 1:2 の土堤を基本とし、護岸は橋梁、堰等の構造物の付近など最小限にとどめるとともに、動植物の生息に配慮し自然素材を用い自然な水際になるようにします。

堤防の前面は、抑え盛土を兼用した緩やかな平場とし、多様な水深分布を持つ水生植物帯を設け、水質浄化を行うとともに、動植物の生息・生育場の確保、人と自然の緩衝帯として機能するように配慮します。

堤防の背面には、「八千代・印旛・栄自転車道」などの関連事業と連携を図り、地域住民が印旛沼に接する場として機能の充実を図り、堤防天端の整備、良好な景観の確保に配慮します。

西印旛沼と北印旛沼では、栄養塩類の含有率の高い底泥の浚渫<sup>ていでい</sup>を行い、水質浄化を図ります。浚渫土は、周囲堤の築堤等に有効利用を図るものとします。

##### 長門川

- ・ 施行区間 利根川合流点～北印旛沼流出点
- ・ 延 長 L=5,138m
- ・ 整備内容 築堤工

##### 北印旛沼

- ・ 施行区間 全面
- ・ 延 長 L=14,567m
- ・ 整備内容 築堤工、浚渫（浄化）、植生帯（浄化）

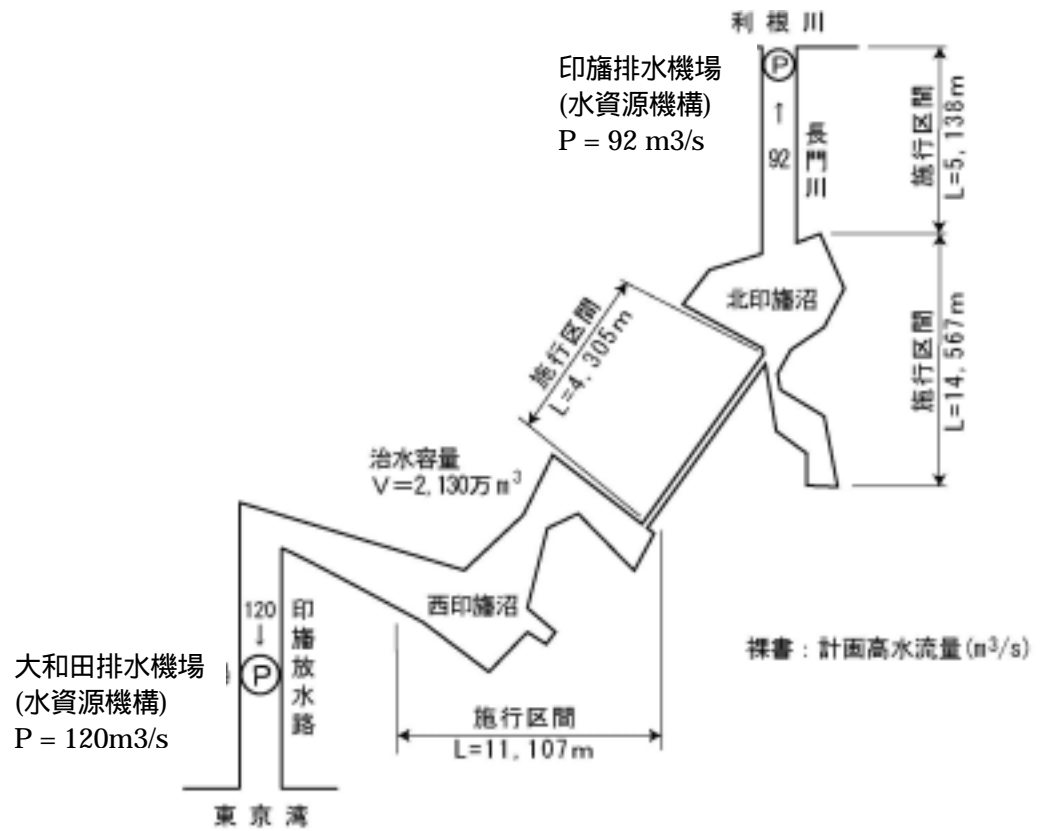
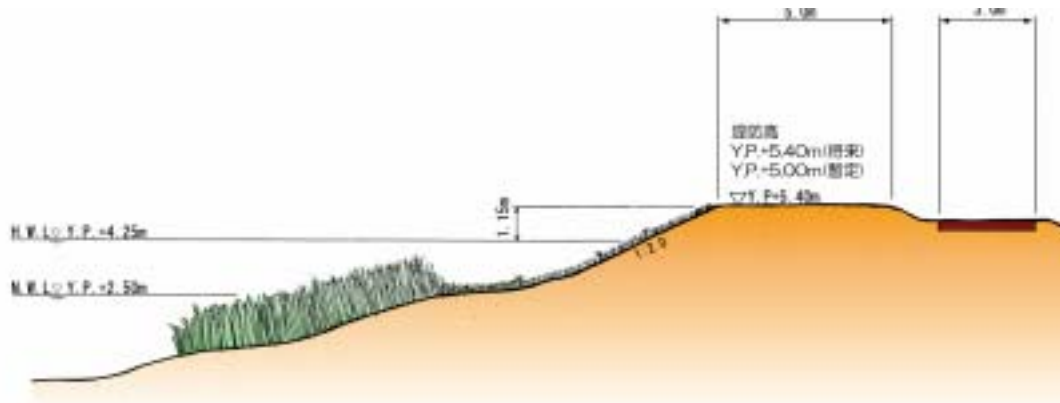
##### 印旛水路

- ・ 施行区間 北印旛沼流入点～西印旛沼流出点
- ・ 延 長 L=4,305m
- ・ 整備内容 築堤工・掘削工

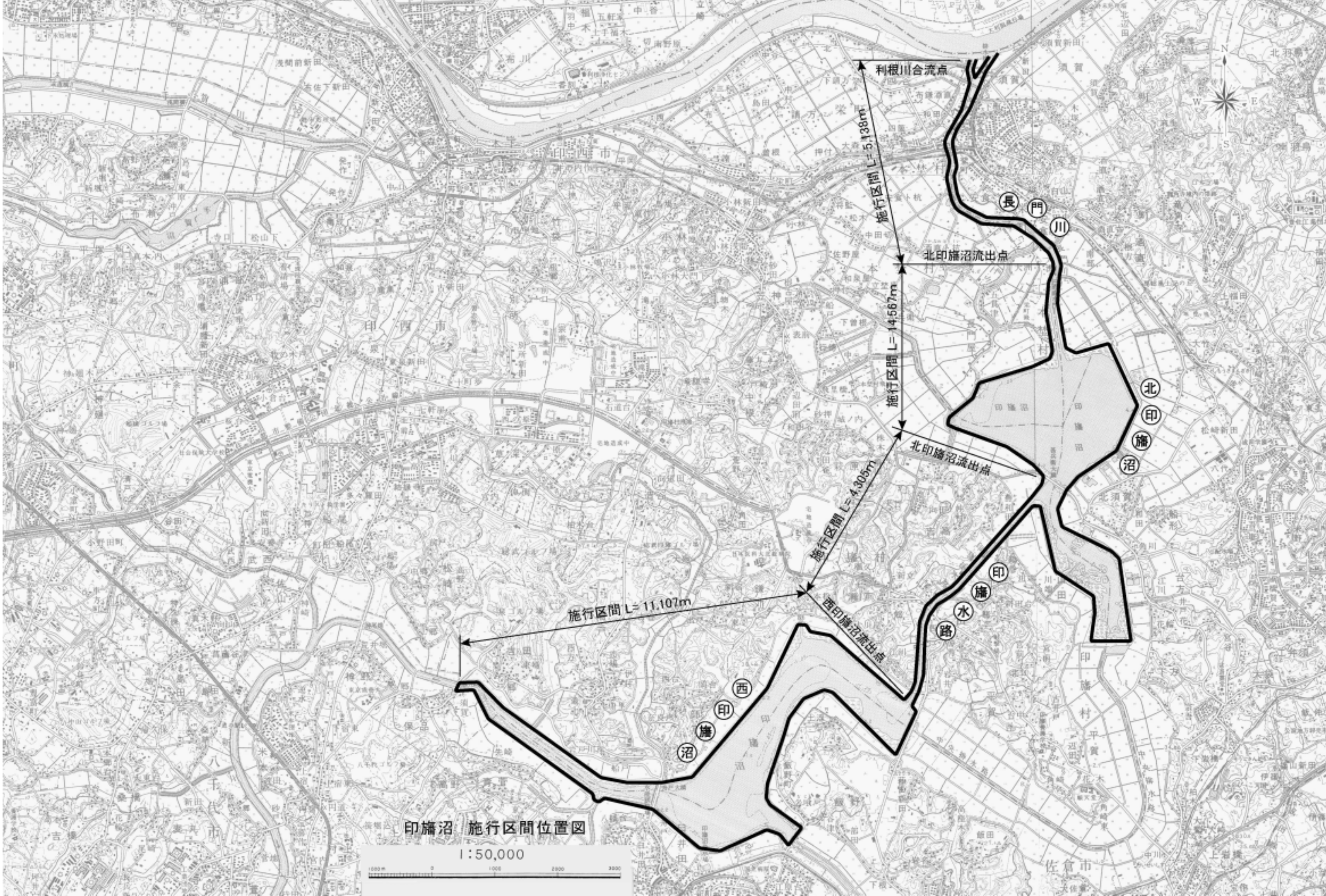
##### 西印旛沼

- ・ 施行区間 全面
- ・ 延 長 L=11,107m
- ・ 整備内容 築堤工、浚渫（浄化）、植生帯（浄化）

周 圍 堤 ( 印 旛 沼 )



流 量 配 分 図



印旛沼 施行区間位置図

1:50,000

